



# 未来の小さな芽 (第1回)



令和2年6月26日

園長 大西 三千代



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から2か月間続いた臨時休業・特別保育がようやく明け、こども園にも新学期の始まりのようなワクワクする賑やかさが戻ってきました。

新入園児も在園児もみんな新しい環境に戸惑いながらも4週間、日に日に園にも慣れてきて自分らしさも出せるようになってきました。

これからの園生活や遊びの中で、子ども達一人一人に未来につながる「小さな芽」が芽生えていきます。そんな毎日を紡ぎながら過ごす子ども達との生活やこの時期に育てたいことを保護者の皆様にお届けしたいと思ひます。

★今回は新しい生活様式・初めてがいっぱいの3歳児の様子をお知らせします。



## 新しい生活様式



小さくても、手洗いはしっかりできるようになりました。

コロナ感染症予防のため、子ども達の生活も以前とは変わりました。お友達との間は密にならないように、間隔をあけて椅子に座って先生のお話を聞きます。どんなに隣の子が遠くても、ちゃんとお友達の存在は感じています。

手を洗うことも、ご家庭での習慣も定着してきたのか、手首も親指も上手に洗えるようになりました。

大好きな給食は、対面で食べるので机の中央に保育者手作りのシールドを立てて…「テレビみたい!」と子ども達はどんなことも楽しみに変えてしまいます。



## 初めてがいっぱい (3歳児)



幼児クラスへ進級・新入園の子ども達は今までとは違った環境のなかで、戸惑いながらも保育者に見守られながら「(出席ブックに)今日のシールは、ここに貼るよ」「椅子に座ってお話を聞こうね」と園生活の仕方を一つ一つ学んでいます。

マスクを取ったりついたり、トイレの使い方を知ったり、汚れた服を着かえたり…毎日が学びです。

でも、お誕生会や大好きな水遊び、ままごと遊び、すべり台など楽しいこともいっぱいです。



初めてのお誕生会、5歳児のお姉さんがお祝いに来てくれました。大きくなったことを喜びながら、少し緊張していた5月生まれの子も達でした。



初めて裸足になって、砂場の水遊びに出かけた二人・・・裸足に土の感触がこそばゆいのか二人で手をつないで「クスクス」笑いながらそろりそろりと歩く姿が、とても可愛いかったですよ。







探索だいすき！りすぐみ（0歳児）



『周囲に気になるものを見つけたら、ハイハイや伝い歩きで近づき、それが何かを確かめようとします。大人と違うのは、五感を使って確かめるところです。目だけではなく、触ったり、音を聴いたり、なめて確かめようとするのが乳児の特徴です。「探索活動」は、周囲のものへの興味や関心「何かな?」「不思議だな」という気持ち「触ってみたい」という意欲が芽生えた表れです。体を使って探索し、身近なものへとかかわりをもつことが、その後の知的発達の土台をつくります。』

片づけても、片づけても…取り出してポイポイ、そして口の中へ。大人が困ることもいっぱいありますが、大切な意味があるのですね。

こども園では、お昼寝の時間に子ども達が使ったおもちゃは、すべて消毒をします。また、トイレトーパーの芯に入る大きさのものは、小さな子どもでも簡単に飲み込むことができるといわれているので、小さなものがないかも気を付けています。ご家庭では、ボタン電池や磁石の誤飲に気を付けてくださいね。プチトマトも丸のままは危険です。乳幼児の間は、4等分にしておきましょう。

生活の再現 ぱんだぐみ（1歳児）

『1歳児になると、大人のことを模倣し生活の動作を再現することを楽しむようになります。生活再現あそびの元になるのは、子ども自身の身近な経験です。こども園には子ども達がいっつも模倣して遊べるように、お皿やお茶碗、エプロン、かばん、携帯電話お人形などを豊富に用意しています。でも、まだまだやり取りはなく、周りの大人が「ありがとう」「どうぞ」と返すことで、後のごっこ遊びへとつながっていきます。』

お部屋の中だけでなく、戸外でも砂やカップを使っていつの間にか生活の再現遊びが始まります。砂場遊びの横にも、お鍋やお皿、スプーンやお玉がスタンバイ。

お母さんにそっくりな、小さなお母さんたちがいっぱいいます。



拭き 拭き！  
お掃除中！



赤ちゃん  
ちょっと 待ってね！



「まねっこ大好き」なぞうぐみ（2歳児）

『2歳児は「まねっこ」が大好きな年齢と言われます。保育者やお友達のことをよく見ていて同じようにしたがりです。誰かが何かを始めると、いつの間にか全員に広がっていたり…。このまねっこが成立するには、自分と他の子どもと区別がついていることが前提となります。しかも、ただの「まね」ではなくて「あんなふうにしてみたい」「おもしろそう」とまねっこしながら自分の世界をつくっているのです。』

お友達が使っているスコップやカップも同じものが欲しくて「スコップ取られた!!」などトラブルもあります。箱の中に誰かが入ったら、次々と入ってきてギューギューにも…「〇〇ちゃんと同じことがしたかったんだね」とやりたかった気持ちに共感し「こっちにも同じスコップがあるよ」「次に空いたら入れてあげてね」と仲立ちしたりしながら道具も多く用意して、自分の世界で思いっきり遊べるようにします。先生のまねっこも大好きですよ！

